

「国際競争力強化技術開発プロジェクト」 について

《説明資料》

※ 内容は令和2年度補正予算政府案に基づくものであるため、事業の実施は予算成立が前提となります。
また、今後、予算成立までの過程で資料に変更があり得ることをあらかじめ御承知おきください。

令和3年1月

農林水産省

農林水産技術会議事務局

研究統括官室

スマート農業技術の開発・実証プロジェクト

【令和2年度第3次補正予算額 6,200百万円】

＜対策のポイント＞

国際競争力の強化に向け、ロボット・AI・IoT等の先端技術を活用した「スマート農業」をテーマに基づき現場に導入・実証し、拡大する海外の食料市場への対応や国内の食料生産基盤の強靱化等に資するスマート農業技術の開発・実証を行います。

＜政策目標＞

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [2025年まで]

＜事業の内容＞

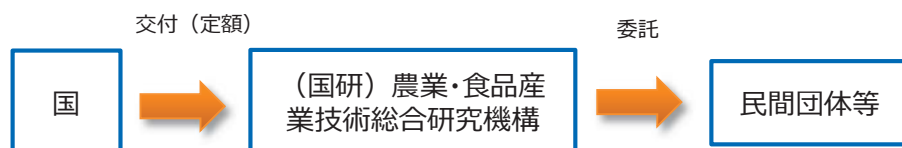
先端技術を活用して持続可能な生産基盤を構築するため、輸出重点品目の生産拡大やシェアリング等の新たな農業支援サービスなどのテーマに基づいた実証、国内外のニーズに応え、持続可能で国際競争力の高い生産基盤の構築を見据えたスマート農業技術の開発・実証を実施します。

【実証テーマ】

- ① 海外ニーズに合わせた輸出重点品目等の生産・出荷体制の構築
- ② シェアリング等の新たな農業支援サービスの活用
- ③ 需要変化対応や、生産・消費の連携等のスマート商流の実現
- ④ 「新しい生活様式」に対応したリモート化・超省力化
- ⑤ 強靱で持続可能な地域農業の構築

併せて、スマート農業と連携しつつ、海外ニーズに対応した栽培技術・品種開発等を実施します。

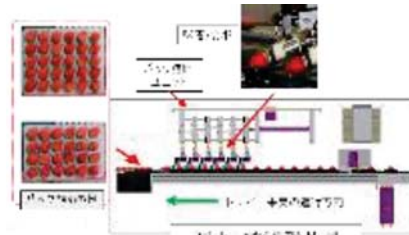
＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

テーマに基づいたスマート農業技術の実証イメージ

【輸 出】



長距離輸送に対応した生産・出荷技術

【スマート商流】



店舗からの情報を先取りし、
予測モデルによる生産・流通の最適化

【新たな農業支援サービス】



シェアリング等により、保有機の
稼働率を向上しつつコスト低減

【リモート化】



収穫後の運搬・出荷時の自動積載

「スマート農業」の社会実装を加速化

【お問い合わせ先】 農林水産省技術会議事務局研究推進課（03-3502-7437）

1

令和2年度補正予算概算決定 スマート農業技術の開発・実証プロジェクトのうち、 国際競争力強化技術開発プロジェクト課題一覧

1. 革新的スマート農業技術開発		
	(1) 新たなスマート農業技術開発	
	① 安全安心な農業用ハイスペックドローン及び利用技術の開発	3頁
	② 農作物に適したロボットアーム等を活用した農作業自動化技術の開発	4頁
	③ AIを活用したスマート除草システムの開発	5頁
	④ 農地基盤のデジタル化によるスマート農業の機能強化技術の開発	6頁
	(2) 革新的営農支援モデル開発	
	課題詳細は右記のページ参照	7頁
2. 輸出促進のための新技術・新品種開発		
	課題詳細は右記のページ参照	8頁